国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチだより（2023 年 9 月号）

9月21日は国連が定めた国際平和デーです。すべての国、すべての人々にとって共通の理想である国際平和を記念、推進していく日としています。平和と人権は密接な関係にあります。人権が尊重されれば戦争や人権侵害が起こらず平和であり、心が平和であることで人を思いやり人権を尊重する社会が形成されます。このところニュースでも人権という言葉が多く飛び交います。心が平和で人権侵害が起きない世の中を願うばかりです。

“人権”と“思いやり”は違う

皆さんは、“人権”という言葉を聞いたとき、どんなことを思い浮かべますか？　例えば、「人に対して“思いやり”や“優しさ”の心を持つこと」と考える人もいるかもしれません。勿論それはとても大切なことですが、“人権の本質”はそればかりではないと思います。「いじめ」を例にとって考えてみます。自分が他人をいじめてはいけないのは、いじめると相手が“かわいそう”だからでしょうか？人権の視点からは、いじめは相手の“幸せに生きる権利”（＝人権）を侵害する（こわす）行為であり、人として“やってはいけない”ことです。自分の人権（幸せに生きる権利）を守りたければ、けっして他人の人権を侵害すべきではないのです。

そもそも、人権と思いやりでは、その“担い手”が異なります。思いやりには、「思いやる側」と「思いやられる側」があり、思いやりを発するかどうかは「思いやる側」が主導権を握っています。このため、下手をすると自分が嫌いな人や理解できない人などは“思いやりの対象外”となる危険があります。

これに対して人権は、人間としての尊厳を傷つけられた人や自由を不当に束縛された人などが「自分の幸せに生きる権利を尊重せよ」と主張する根拠となるものです。

このため、たとえ相手をどんなに嫌いであっても、その人の人権を傷つけることは許されないという考え方です。そして人権教育では、「どんな人にも人権がある。それを奪われたり不当に制約されたりしたときは、声を上げて抗議してよい」といった見方を教えるべきと思います。

筆者は、県内の生活困窮世帯に寄贈食品を無料でお届けするフードバンク活動や、その子ども達への学習支援などを、微力ですがボランティアで行っています。こうした取り組みで大切にしているのは、「他人事ではない」と想う気持ちです。「思いやり」の心だけだと、“上から目線”になってしまう恐れがあります。自分が支援する相手から学ぶ“謙虚な姿勢”を忘れないことが大事だと思います。ちなみに、生活困窮者への食料支援は、本来ならば政府が責任をもって取り組むべき事柄だと思います。日本国憲法に保障された基本的人権（生存権）だからです。

支援している子育て家庭の中には、夏休みの“前”より“後”の方が子どもの体重が減ってしまうケースをみかけます。学校給食がないために、子どもの健全な成長に必要な食事を親が確保できないからです。そうした家庭の多くは、母子家庭です。母子世帯の約半数は、生活困窮世帯です。母親が一生懸命働いても、家族一人当たり一食・百円未満のお金しかかけられない世帯が相当数あります。お母さんが自分はろくに食べずに子供にあげて、栄養失調になっているケースもあります。

こうした悲惨な人権侵害は、市民の“思いやり”（寄付等）だけでは十分に解決できません。例えば、アメリカ政府の生活困窮者向け食料給付制度（ＳＮＡＰ）では、アメリカ人の約１３％（約８人に１人の割合。低所得者・約 4,200 万人）が利用し、年間予算で約１０兆円（一人平均・年・約２３万円）が電子カード（金券）で給付されます。そのカードを食料品店のレジに提示すると、給付額の範囲内で生活必需品の食料品に限定して購入することができます。（※１）

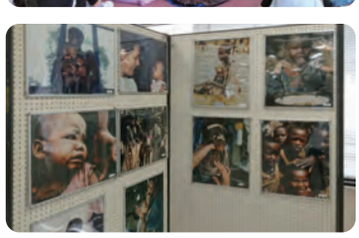
（※１）「手厚い米国の貧困者向け食料支援・農務省予算の 7 割」（日本食農連携機構・コラム）

願わくば我が国でも、全ての国民が飢えや栄養失調で苦しまなくて済むよう、健康の維持や子どもの健全な成長に必要な食料を保障する制度を、政府にぜひ作ってほしいと思います。

活動報告

人権移動教室　9月1日（金）双葉西小学校、9月7日（木）竜王東小学校において、人権移動教室を開催しました。

人権啓発パネル展　9月7日（木）～20日（水）甲府市東公民館、甲府市西公民館にて、人権啓発パネル展を開催しました。



今後の予定

人権移動教室　9月25日（月）双葉中学校において、人権移動教室を開催します。

人権啓発講演会　10月5日（木）甲府市庁舎において、人権啓発講演会を開催します。

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチ　　会長：横山隆史
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨
〒400-0031　山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563　FAX. 055-243-8564　http://yamanashi.yihrc.or.jp/　E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

＜協賛＞
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業：（株）成心設備、西関東開発（株）、（株）ウィルマート、（株）R&C、（株）フジコー、（株）渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、（株）とちの木

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立甲運小学校（女子）

人権移動教室を終えて

甲運小学校6年（　　）

今日は来ていただきありがとうございました。
世界には何十億の人がいて、顔もちがうし感じてること
考えることはまったくちがうけど、だれでも「死にたくない」
「しあわせになりたい」の2つのことはみんな
同じことを考えているなんてすごいと思いました。
戦争がおきたくさんの人々がなくなっていき人口も
少しずつ減っていっている時もあったけど、いまでは
たくさんの人が地球の上にいるなんて考えられません
ルワンダなどにすんでいる人はいじからころされてしまったり
たくさんのひ害にあっていて、かわいそうだなと思い
ました。でもけがをした人をそばにしてあげてくれる人
がいると私も少し安心すると思います。
優しさをわすれずに、1日でも長くいきていきたいです。
私もみんなのために、自分のことを
あとまわしにしてお父さん、お母さんからもらった
命も大切にしてこれからの生活をしていきたいです。

甲府市立甲運小学校（女子）

人権移動教室を終えて

甲運小学校6年（　　）

私は、今日の話を聞いて、色々なことを知りました。
まず「人権」という言葉の意味"命・幸せ"です。
人権はだれもが持っているということを知りまし
た。話を聞いた時もっと「やさしさ」を持ちたいと
思いました。特に知って良かったのが、世界には
色々な争いごとが起こり、それに関係のない人
や、その国の人々がたくさんころされてきたとい
うことを、知れたことです。一人一人の意見がすれ
ちがっただけで、たくさんの人が死んでしまうの
は、とても悲しいと思います。きっと、みんながゆ
ずり合って、もっともっとやさしくなって、他の人のことが
考えられれば、とてもよい国になると、この話を通
して、分かりました。私は、ぜったいにこれから先、
「人権」という言葉を忘れず、やさし
い心を持って生きたいと思いました。
今日、話を聞けて良かったです。